

## グローバルな視野で地域課題に取り組む



撮影丸尾 鉄造さん

明けましておめでとうございます

「希望を持ってともに生きる社会」の実現を目指したVISION2020の最終年を迎えました。大阪YMCAは、その実現に向け幼児から高齢者までの全世代を対象に、全人的な成長を願った活動を地域で展開することにより、VISION2020の実現に向けて歩んでまいりました。また、海外YMCAとのネットワークを築き、国内外において、グローバル教育を実践する団体として認知されてきました。

昨年末に、アフガニスタンで亡くなった学生YMCAでも活動された中村哲医師は、地域住民の真のニーズは、砂漠を緑化し農地回復のため灌漑水利事業に取り組むこととし、住民の賛同を得て取り組みました。海外からの一方的な援助ではなく、地域住民が自ら汗をかき、生活基盤を確立させる取り組みです。

地域のニーズを見出してそれに応える取り組みはYMCAの基本姿勢です。例えば、19年前にスタートした大阪YMCAインターナショナルスクールは、大阪市が国際都市として発展していくために必要な基本機能として、海外から赴任する家族の子どもが安心して通える学校が必要であるという地域課題に応えた、大阪市と大阪YMCAが協力して取り組んでいる事業です。

1920年7月、大阪YMCAは、日本で最初の教育的キャンプを六甲山の麓で行いました。キャンプでは、歌を歌ったりゲームをしながら徐々に参加者同士の距離感が近くなり、出会いが生まれます。今年はキャンプ100周年を迎え、「NEXT100 CAMP」として現代的な社会課題に向き合った新たなキャンプを実施し、キャンプの価値を再発見する挑戦を行います。その一つは、海外YMCAからディレクターやメンバーを募った中学生・高校生

世代を対象とした国際キャンプです。SDGsに代表される地球規模の課題に取り組む若者が、海外の人と生活を共にし、出会い語り合う取り組みは、未来を創り出す活動です。

「あなたがたは世の光である」(マタイによる福音書5章14節)私たち地球上に住む誰もが神様が備えてくださった輝く光です。新年を迎え、心新たに皆さまとともに、グローバルな視野で地域の課題に耳を傾け、真のニーズに基づく活動を大阪YMCAで広げてまいりましょう。



大阪YMCA総主事  
おがわ けんいちろう  
小川 健一郎

### ■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境・人権・貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。



# 大阪YMCA大会 2019

2019年11月23日(土・祝)、大阪YMCA大会2019を大阪YMCA会館にて開催しました。  
YMCAのムーブメントに参画する皆さまとともに集い、新しい学びと交流の場となりました。



## 第25回6YMCA協議会 inハワイ



かどめ しん たらう  
徳島地域センター 事業長 香留 伸太郎

今年で第25回を迎えた6YMCA協議会は、25年前に大阪YMCAから平和の構築を願って開始され、台北・ソウル・香港中華・ホノルル・メトロポリタンシンガポール・大阪の各都市YMCAが協議会メンバーとして参加しています。2019年11月4日(月)～10日(日)にホノルルで開催された会議の中で、大阪YMCAが日本で最初の教育的組織キャンプを開始して2020年で100周年を迎えること、ユース世代の育成・新たな教育キャンプをめざし、「WORLD CAMP 2020」「CAMP SYMPOSIUM 2020」の実施説明と参加の呼びかけをしました。

また、発達障がいや不登校の生徒が通う大阪YMCA国際専門学校高等課程表現・コミュニケーション学科が連携しているパラエティクススクールを訪問し、将来を見据えたビジョンとその教育実践について学びました。

今年は、ホノルルYMCA150周年が開催され、ファンディングが地域サポーターによって強く推進されている様子を目の当たりにし、YMCAの存在意義を感じました。帰国後、ホノルルYMCAからユース世代のためにファンディングをするとの連絡があり、YMCAの存在意義を感じました。

協議会参加を機会に、グローバルな視点でのユース世代の育成や、コミュニティーから共感を得ながらのYMCA運動を進めてまいります。



## Yアクターフォーラム ～大阪YMCA×SDGsで新しい可能性を考える～

ウェルネス事業 徳島事業グループ <sup>かんだ ひとし</sup> 菅田 育

今年のYアクターフォーラムは、大阪YMCAの新しい可能性を考える機会として、「大阪YMCA×SDGs」をテーマに、新しい行動計画を生み出すことを目標に話し合い及びその発表を行いました。参加した118名は、大阪YMCAに集うボランティア・スタッフに加え、YMCA国際専門学校に通う多くの留学生でした。外国から学びに来ている留学生の参加が今年の大きな特徴です。

参加者は、SDGs持続可能な世界を実現するための17の目標からそれぞれ興味関心を持つテーマを選び、同じテーマを選んだ方々との分団討議を行いました。SDGsで掲げられた目標である「教育」「ジェンダー」「水とトイレ」「不平等」などについて大阪YMCAとして、また私たちとしてできることは何かについて考えました。

分団討議後、発表と共有の時間をもちました。「飢餓をゼロに」の発表では、留学生から「日本は食に対する感謝が薄い印象が

ある」という意見があり、日本語には「もったいない」という言葉がありますが、日常ではモノがあって当たり前、余ることにやや無関心になっているのではないかと気づかされました。また、無駄であると思うことがあってもシンプルに「やめる勇気」がなければ変化が起こせないと指摘がありました。異なる文化や習慣のある留学生との交流を増やすことが、見えなかった課題の本質を知り、「自



分事」として捉えることにつながる発見があり、新しい取り組みへのヒントとなりました。

Yアクターフォーラムを通して、「YMCAができること」「私たちができること」が広がりました。今回生まれたアイデアから、具体的な行動が生まれ、変化を起こし、そして実感できる成果を生み出すために継続して取り組みを共に進めていきましょう。



※SDGs...2015年に国連総会で採択された「持続可能な開発目標」。2030年までにより良い世界を作ることをめざす。

## Yボランティアの集い

大阪YMCA大会 実行委員長 <sup>よしかわ ひさし</sup> 吉川 尚志

Yボランティアの集いでは、岩坂二規新会長の挨拶があり、皆が気持ちを新たにするとともに、和やかで一体感のある雰囲気で行われました。表彰式と、留学生へのYMCA国際奨学金の授与式がもたれ、奨学金授与式では奨学生を代表してビジネス専門課程で学ぶグルン・カマラさんによる感謝のスピーチが丁寧な日本語でなされました。

また、新しい取り組みの報告や活動報告として、総合研究所のアンバサダーの活動やGYC(グローバルユースカンファレンス)、AQUA WATCH ASIAについて、映像を交えての報告が行われ、様々な活動について皆で共有できる貴重な時となりました。



表彰を受けられたのは以下の方々です。(敬称略・50音順)

### ●奉仕の書

奉仕の書は、長期にわたり顕著な活動をされた会員の方のご芳名を「奉仕の書」に記し、その働きを讃える賞です。

- ・松岡 虔一

### ●永年継続会員

長期にわたりYMCA運動に関わってこられた会員の方の表彰です。

#### 【50年継続会員】

- ・佐古田 修 ・鈴木 良洋 ・西村 博子 ・松岡 虔一

#### 【25年継続会員】

- ・井上 巖 ・今井 裕 ・大橋 昌美 ・木山 敦子
- ・四方 陽子 ・田中 惟介 ・則武 秀尚 ・水口 美里
- ・南出 和余 ・山田 理学 ・横田 憲子 ・吉田 晴津子

#### 【10年継続会員】

- ・生雲 文枝 ・池田 聡美 ・池田 博人 ・大岡 亜希子
- ・大谷 智悠 ・大野 由紀子 ・大東 義史 ・香留 伸太郎
- ・河野 美佳 ・小林 亜津美 ・武井 和子 ・中野 健一
- ・西村 麻衣 ・芳賀 義昭 ・松坂 佳江 ・山口 恭平
- ・山口 守雄 ・山崎 太詩

### ●特別表彰

会員活動の発展に活躍された方や団体への表彰です。

- ・大阪YMCA国際専門学校 ビジネス専門課程 国際ホテル学科・国際ビジネス学科

- ・どんぐりクラブ

### ●特別献金感謝

YMCAの様々な活動のために特別な献金をいただいた方々に感謝状を贈呈させていただきました。

- ・金岡 重雄 ・斎藤 真澄 ・酒井 哲雄
- ・酒井 妙子 ・更家 充 ・Jerri Donovan
- ・柴藤 滋子 ・柴藤 成利 ・清水 汎
- ・武田 文男 ・鉄谷 明 ・中村 英一
- ・中村 純子 ・西川 泰行 ・山口 政紀

## 地域子育て支援「この指とまれ！」



あきやま けんじ  
YMCAたかつきあま保育園 副園長 秋山 健二

2019年11月16日(土)、「0歳からの予防医学と食育」makana®代表の牧 香奈子さんをお招きし、子育て支援講座「看護師さんから学ぶ はじめての免疫学！」を開講しました。病気になりにくい身体づくり、免疫力を向上させる食生活、ウイルスや細菌への感染予防、薬に関する知識など、子育ての心配事や、ご自身の経験と研究をもとにたいへん実践的なお話をさせていただきました。

YMCAたかつきあま保育園では「この指とまれ！」と称し、地域の子育て世代や保育・福祉関係者が集い、専門家の講演や園庭あそびを通して、地域福祉の向上をめざした活動を行っています。今年度から本格的な活動を始め、様々な課題はありますが、一つひとつの課題を考慮し、まず足がかりを築くことが目標です。将来的には卒園児が関わり、一緒に活動できることを願っています。





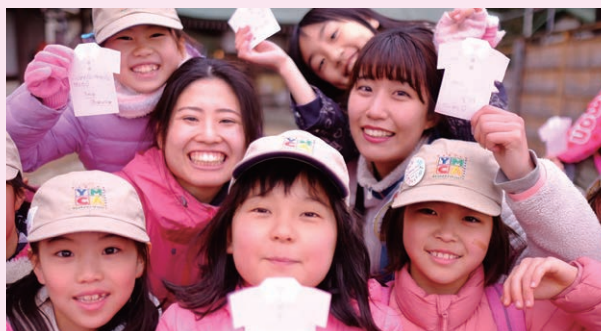
## 「いじめのない世界をめざそう」 YMCAピンクシャツデー2020



大阪YMCAは、毎年全国及び海外のYMCAと共に、「いじめ」に自  
分事として向き合い、社会全体で解決をめざして共に考え、行動す  
るためにピンクシャツデー (PINK SHIRT DAY) に取り組んでいます。

多くの人々が「いじめ」に遭っている子どもの痛みを寄り添い、少し  
でも「いじめ」が無くなるよう、また「いじめ」をする側の課題にも取り  
組む具体的な機会をつくっています。同時に、各地域の諸団体・企業  
や行政などと協力・連携することによって、推進力のある運動を展開  
し、実効性のある取り組みへと繋げていきます。

ピンクシャツデーに向けて、YMCA全体をピンク色のアイテムを  
飾ったり身に着けたりすることで、いじめ反対をアピールします。ご  
賛同いただける皆さま、事業所ごとに取り組む啓発活動にご協  
力・ご参加をお願いいたします。



具体的な活動は、Facebookにて発信・報告してまいります。  
<https://www.facebook.com/ympapinkshirtday/>

### ピンクシャツデー2020 2020年2月26日(水)

※取り組み期間 2020年1月20日(月)～2月29日(土)



#### ピンクシャツデーとは

2007年、カナダでピンクのシャツを着て登校した少年がいじめ  
られました。それを見た2人の生徒が50枚のピンクのシャツを友  
人・知人に配り、翌日登校します。学校では呼びかけに賛同した  
多数の生徒がピンクのTシャツを着て登校。学校中がピンクに染  
まり、いじめが自然となくなりました。そのエピソードがSNS等で  
世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに反対する活動が  
行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の  
第4水曜日でした。それ以降、YMCAでは2月の第4水曜日には私  
たちもいじめについて考え、行動する1日としています。

## 大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持た  
れています。YMCAのさまざまな場で活動されている方々にお話をいただ  
き、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第321回 日 時...2020年1月17日(金) 7:30～8:30

証 し...<sup>うの みつひろ</sup>宇埜 充洋さん  
(ウエルネス事業部責任者)

■第322回 日 時...2020年2月21日(金) 7:30～8:30

証 し...<sup>せいけ きゆうへい</sup>清家 球平さん  
(堺市立青少年センター所長)

場 所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

## 健康コラム



### みんなで縄跳びを跳ぼう! ～縄跳びチャレンジ～

こにし ゆうき  
南事業 事業長 小西 雄希

2019年11月1日(金)から2020年1月31日(金)まで、全国YMCAウエルネ  
ス事業の主催で「体力向上キャンペーン～跳んで、跳ねて、元気になあ  
れ。」を行っています。全国共通のテーマは、「縄跳び」です。縄跳びの効果  
は、有酸素運動で全身を鍛えることができるだけではなく、骨にとっても  
良いことがわかっています。連続的なジャンプ運動は、骨の両端(骨端)に  
刺激を与え、カルシウムを骨に吸着させる効果があり、骨密度を高めると  
言われています。筋肉とは違い、骨は20代を超えると衰えていくばかりで  
す。幼少期からのバランスの取れた食事と、骨を鍛える運動が必要となり  
ます。ジャンプ運動は膝に負担がかかるので、シニアの方は、それぞれの  
身体の状態に合わせて行ってください。

これを機会にご家族揃って体力向上の取り組みを始めてみませんか。縄  
跳びは「短い時間」で「簡単な道具」を使って、「狭い場所」でも「誰とでも」で  
きる運動です。今回、全国のYMCAでは50万回を目標に縄跳びに挑戦します。気軽  
に始められる縄跳びを、皆さんと共に楽しみながら、より  
良い運動習慣のキッカケと  
なることを願っています。



## 第20回 中日本地区 YMCAグローバル教育研修会



YMCAの活動がSDGsの達成を後押ししていく、その大きな役割を知る  
ための研修会です。

- 日 時：2020年2月1日(土)13:00～2日(日)15:30
- 場 所：六甲山YMCAグローバルラーニングセンター
- 参加費：10,000円  
(1泊3食、送迎バスご利用の場合は別途2,000円)
- 講 師：ロニー・アレキサンダーさん  
(神戸大学大学院国際協力研究科教授・学長補佐/  
神戸YMCA国際委員長)
- テーマ：ジェンダーと平和
- 問合せ：大阪YMCAグローバル事業推進室  
TEL:06-6441-5088

申込締切:2020年1月17日(金)

### 会員・賛助会員としてのご協力に 感謝申し上げます。

2019年11月度報告・敬称略

【継続会員】  
伊藤 俊彦  
今井 咲  
神田 尚人  
清正 佳江

中川 善博  
中本 和子  
真嶋 克成  
森 哲史  
山地 弘伸

【継続賛助会員】  
株式会社亀井組  
レックス工業株式会社

大阪YMCAのホームページで  
その他の情報をご覧いただけます。

